

今日のトピック 最近の指標から見る欧州経済（2015年9月）

金融緩和強化で、緩やかな景気回復持続を期待

ポイント1 景気は緩やかに回復

消費と輸出が回復を主導

- ユーロ圏の4-6月期の実質GDP成長率は前期比+0.4%と、緩やかな景気回復を示しました。
- 景気の先行きへの不透明感から投資は減少したものの、ユーロ安や原油安の恩恵を受け、個人消費や輸出が比較的堅調で、緩やかな回復を主導しました。

ポイント2 物価は低位で推移

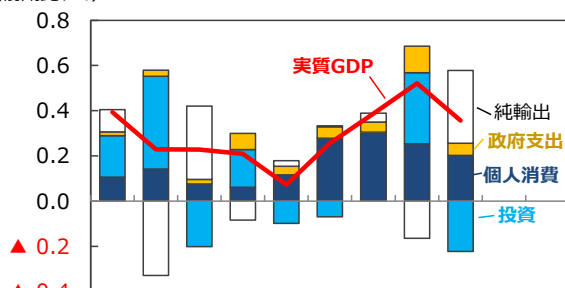
企業向け貸出は増加

- 9月のユーロ圏製造業購買担当者景気指数（PMI）は、3カ月連続して低下したものの、好悪の判断の境目となる50を上回っています。これまでの欧州中央銀行（ECB）による金融緩和の効果が見られ、企業向け貸出も前年同月比増加に転じています。
- 消費者物価指数の前年同月比上昇率は、4月にマイナス圏を脱したものの、8月は同+0.1%の上昇にとどまりました。原油安などから、輸入物価が下落幅を再び拡大していることが主な要因です。

今後の展開 金融緩和強化による、景気と物価のサポートを期待

- 足元では、新興国経済の減速などによる景気の下振れ、原油などの資源価格の戻りが鈍いことによる物価の下振れが懸念されます。ECBのドラギ総裁は景気の下振れリスクが高まった場合、一層の金融緩和をためらわない姿勢を示しています。金融緩和強化により緩やかな景気回復が持続することが期待されます。

(前期比、%) GDP成長率と主な需要項目別寄与

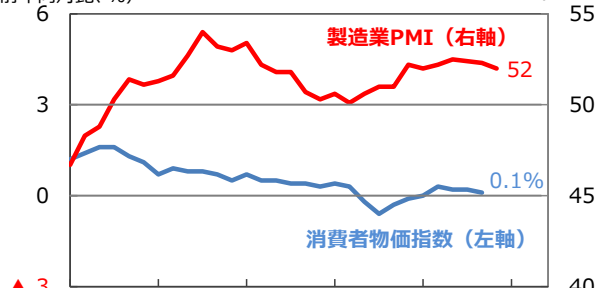


13/4-6 13/10-12 14/4-6 14/10-12 15/4-6 (年/四半期)

(注) データは2013年4-6月期～2015年4-6月期。

(出所) 欧州統計局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(前年同月比、%) 製造業PMIと消費者物価指数 (ポイント)

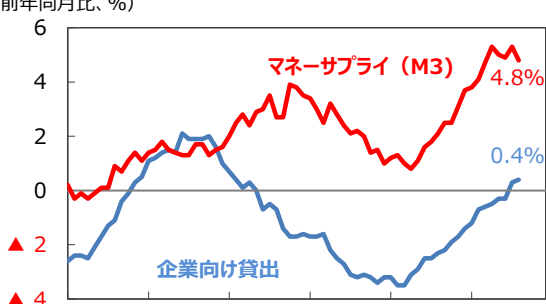


13/4 13/10 14/4 14/10 15/4 (年/月)

(注) 製造業PMIは2013年4月～2015年9月。50が好悪の判断の境目。消費者物価指数は2015年8月まで。数字は直近月。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(前年同月比、%) マネーサプライと企業向け貸出



10/1 11/1 12/1 13/1 14/1 15/1 (年/月)

(注) データは2010年1月～2015年8月。数字は直近月。

(出所) ECBのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2015年 9月 8日 欧州株式市場の動向 金融緩和継続により、底堅い展開を期待
2015年 9月 4日 ECBは金融緩和の強化を示唆

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。